

# 第21回「文芸思潮」現代詩賞 中間発表 「一次・二次・三次予選」

●第21回「文芸思潮」現代詩賞に御応募いただき、まことにありがとうございます。おかげさまで、日本全国より二四二人から作品をお寄せいただきました。心から御礼申し上げます。去る五月三十一日に締め切らせていただき、厳正な一次・二次・三次予選審査を行いました。その結果を謹んでここに発表させていただきます。

無印は一次予選通過者、○印は二次予選通過者、◎印は三次予選通過者です。長いタイトル、複数タイトルは短く省略させていただきます。

## 北海道

- ◎「詩にたいとなげく詩人への出さ  
ない手紙」 朝伊ミチル
- ◎「枯れ庭」 来野 怜
- ◎「グイの家」 笹森美帆
- ◎「時の廊」[朝日の底] KAOH
- ◎「面を洗う」 春町桃花
- ◎「花色の真珠と再生のワルツ」 夢時リュンヌ
- ◎「メイ」 蒼樹ほのお
- ◎「入相」[窓を拭く] 中村郁恵
- ◎「思索と詩作」 象り
- 青森県
- ◎「深淵の愉悅」 小山田良三
- 岩手県
- ◎「透明な暗殺者」 珀亜

## 宮城県

- 「独白(冬)」 宇部晃太
- ◎「くちばし」[脱ぐ] 堀越そのえ
- ◎「Aspect」 あらいれいか
- ◎「奥の奥にある大事な心」 日知
- ◎「紙の手触り肌触り」武田 悟
- ◎「あなたの雨は私の涙」 柏村ねおん

## 山形県

- ◎「眺望」 井上利也

## 福島県

- ◎「オーブンカー」 菅原 響
- ◎「憧憬」[散心]「残灯」菅野 望
- ◎「拝啓、カインへ」もぐらたぬき
- 茨城県
- ◎「東京バス」 おとのこころ

- ◎「風葬」[秘儀の夜] 関根 怜
- ◎「Fのソナチネ」 宮本宜孝
- ◎「春夢」 柊みどり
- ◎「蜘蛛」[微睡み] 蟹気ボト
- ◎「黒い鬼」[老女] 大林雄治
- 栃木県
- ◎「雲の上の人」 コントレイル
- 群馬県
- ◎「螢とかくれん坊」 岡部 隆
- ◎「祈り」[卵焼き] 金 葉花
- 埼玉県
- ◎「四丁目の夕日」 北川 聖
- ◎「おむすびは世界一美味しい飯」 三日月李衣
- ◎「原米論―咀嚼以前の民俗」 加藤雅水
- ◎「隠れているほく」 大友紅蔵
- ◎「水の無いプール」 北村灰色
- ◎「泥のように眠、れず」 風何
- ◎「幻想揺曳曲」 柳柳太郎
- ◎「痛みという宝物」 あゆみ
- ◎「一回」 あいはて
- ◎「左手のない猿」いもといちろう
- ◎「青薔薇は未来を知っている」 ERING (向井えり)

## 千葉県

- ◎「輪廻」[浜辺] 夏灼しおり
- ◎「城」 古溝 率
- 千葉県
- ◎「確信」[輝く水] 水沢朱実
- ◎「隣人家的向日葵」 芳賀 董
- ◎「防衛ライン」 佐々木漣
- ◎「八月の耳」 森下万尋
- ◎「大丈夫、大丈夫」 Ita
- ◎「旅の心得」 玖高言音
- ◎「熱る」[乱気流]「紺青」 ヤス
- ◎「秋宵」[可惜夜] 胤利史朗
- ◎「どんぐり」 いのL
- ◎「毒のかたち」 片桐こげち
- ◎「愛と呼んだから」 実川阿仁
- ◎「連なる」[午睡の箱] 五十月彩
- ◎「詩」[錯乱の僕]「星」河村瞭我
- 東京都
- ◎「おやすみのうた」 米津詩織
- ◎「限らない女」 柳沼咲子
- ◎「仕返し」 Cycle Wakka
- ◎「刃物」[如] 斎藤明徳
- ◎「言葉を探して」 小室澄江
- ◎「闇夜に香る」 黒田裕美子
- ◎「星を葬る」 杉平 敦
- ◎「終焉、或いは再生」 雨宮沙里

# 第21回「文芸思潮」現代詩賞 予選通過作品発表

- ◎「種」[心]「愛しい」 金野とよ子
- ◎「フラッシュバック」 坂本月子
- ◎「虹彩の絶滅保護について」 notk@\_K
- ◎「不思議な風の日」 不動いお
- ◎「約束」[紅葉]「化身」南斗るい
- ◎「これは君が注文した雨じゃない」 バンクラブシー太郎
- ◎「桜」[平安] 泉 玲子
- ◎「少しずつの違い」 沓貫亨治
- ◎「美しさについて」 浦田久武
- ◎「彼方の人たちへ」 片岡周子
- ◎「不意打ち」 遠藤芳子
- ◎「ラプソング」 紺野 真
- ◎「明滅」[痕]「魂柱」 ふきの
- ◎「夜になれば」 山本雨栂
- ◎「茶房」[非行律] オキラク
- ◎「いなくなるタイミンク」[ほかの誰かにとって] ショーン
- ◎「古と抽象」 まつのき
- ◎「あり地獄」 佐久間行
- ◎「亡父のこと」 鈴木和則
- ◎「十万画素の印象画」 千葉紫月
- ◎「笔る」[儀式] 佐山由紀
- ◎「水想」[記録の異変]「砂傍」 井口牧子
- ◎「邂逅」[はじまり] 田中彼方
- ◎「雪 Show」 政木麻由子
- ◎「薄い膜に映る花」 藍澤祐樹
- ◎「燃え尽きた太陽」 庄司直也
- ◎「午前8時の眠気」 庄司直也

- ◎「はじめてはなに」 自由一花
- ◎「rebirth」[je t'élève] notk
- ◎「いのりの歌2」 齋藤 礼
- ◎「ゲゼル」 赤坂和代
- ◎「秤」[風]「朝の輝き」小川勇大
- ◎「琥珀」 片野 桃
- ◎「青の刻」[障り] 宮原透夏
- ◎「おんなごころ」 北あかりん
- ◎「宮沢賢治という星」 花山徳康
- ◎「ずれの群れ」 遠藤月尾
- ◎「いのちの素描」 相河史哉
- ◎「統合感覚」[パレード] 梁瀬象
- ◎「散歩する魚類」 色透ふう
- ◎「大富豪」[水と星座] 鹿島 楓
- ◎「浜の神の石」 南雲和代
- ◎「バンコクグリッチ」 中里 一日
- ◎「東塔」[薬師寺] 清水一美
- ◎「西友」[うたたね] 大塚楊梅
- ◎「十九歳」[本流] 山下雅史
- 神奈川県
- ◎「林檎」 Sats
- ◎「原点回帰」[いちご] 多佳子
- ◎「思惑」 信風活路
- ◎「背筋」[スペクトラム] ルキア
- ◎「中深層」 上原有栖
- ◎「戦車の轍に埋もれた声」[宇宙におさまるビー玉] 阿部静雄
- ◎「口に、夏」 碧 はる
- ◎「季節に咲かない」 宗 有鎮
- ◎「アスファルト」 河野宏紀

- ◎「はっこう」 ほかのなにか
- ◎「生きること」 柳瀬陽地
- ◎「森羅万象」 深澤 陽
- ◎「夢食」[生活] 富澤あすか
- ◎「共存する」 もしも、はる
- ◎「異郷にて」 宮脇すみれ
- ◎「海の底より」 星詠澄子
- ◎「悪魔の証明」 ★紫苑☆
- ◎「ばつ印」[母の日] やらずの
- ◎「よつ葉探し」 七十里悠
- 新潟県
- ◎「平和」[戦争] 武井深彦
- ◎「別離」[蜉蝣]「廻る」優木絆名
- ◎「酔えないこの子」 椿生宗大
- 富山県
- ◎「生と死の混じる地にて」 添美
- ◎「1120」 山本千鶴
- 石川県
- ◎「闇に溺れる」 酒井恵三
- ◎「淋しすぎて」 中村 隆
- ◎「ストロボ」 裏路地ドクン
- 山梨県
- ◎「従姉妹」[通院] ふきのとう
- ◎「神」 田中浩司
- ◎「神と等しき男」 カミーれおん
- 長野県
- ◎「群青の灯」 皐月五日
- ◎「ともによきひと」 今井 葉
- ◎「見つけた」 イオリシヤオロンリネス
- ◎「散文」[海を捨てる] 妻咲邦香
- ◎「儀式」[海の焰]「泥土」野葛間
- 岐阜県
- ◎「朝陽のグループ」 黒髪
- ◎「頑張る基準」 青砥在りか
- ◎「村八分」[檻]「火」 後藤 順
- ◎「白衣の狂言」 吉永旬那
- ◎「寒夜」[春] 中之宿えい
- ◎「落花」[四季のこと] 下原整走
- 静岡県
- ◎「ジブンケアラ」 野中梨央
- ◎「更地」[交差点] 尾内甲太郎
- ◎「空き家」 田村全子
- ◎「存在のしるし」 橋本沙和子
- ◎「宵闇を呼び黄泉を詠む」 曲田尚生
- ◎「無数の扉の先」 青金せにあ
- ◎「乳白色の食卓」 後藤敏斤
- 愛知県
- ◎「かげろうの駅」[少年] 大江豊
- ◎「母子礼賛」[鳥瞰] 中村昭洋
- ◎「みどりの日」 福富ぶぶ
- ◎「迷えるあたし」 水波絢子
- ◎「熟れた秋果」 渡邊章夫
- ◎「新世界」[生命の姿] 徳九魁人
- ◎「言葉」[浸食] 遠藤 創
- ◎「直指人心」[符号] 片岡優斗
- 三重県
- ◎「波の音」[執刀] 伊藤裕子
- ◎「敗北の後に」 岩谷隆司

■応募者の皆様へ  
 第一次・第二次・第三次の選考について  
 第21回「文芸思潮」現代詩賞への御応募まことにありがとうございます。第一次・第二次・第三次選考について選考委員会より付記させていただきます。

第一次予選の選考基準は、詩の言葉になっっているかどうかが最も重要な基準点となります。またさらに訴える姿勢や言葉の強さも加味させていただきますました。詩の言葉としては硬度が足りなかったり、やや稚拙であっても、他者に訴えたい切実なものが強く感じられる作品は一次を通過しています。一次予選通過には、何%とか、何篇以内とか、数字の枠はありません。したがって、応募者全員が一次予選合格ということもあり得ます。

また第二次予選は、その中でさらに強く何かが感じられるもの、詩の形としてしっかり翼を得ているもの、言葉の光るものを選びます。一行でもいい、一句でもいい、何か一つ心に残る新鮮な言葉、結晶度の高い言葉があるかどうか、心の真実がこもっているかどうか、思いとして滑空しているかどうかポイント

第21回「文芸思潮」現代詩賞中間発表

第三次予選は、よりたくさんの人に読んでほしいような普遍的な表現力を備えているかが、選考の基準になります。詩としてたくさんの人に読んでもらいたい普遍的な生命力を持つているかどうかポイントです。できれば人の心に残った新たな力になるような魅力も備えていると推しやすくなります。方法として斬新なものも注目ポイントとして加えられることもあります。

「文芸思潮」選考委員会では、選考の便宜性のために通過作品数を何編以内と制限するのではなく、あくまで作品の内容を重視して、優れた作品がたくさんあれば、できるだけその作品の価値やレベルによって、作品を残すよう心がけています。したがって、場合によってはたくさんさんの作品が三次予選、さらにその上に選出される可能性もあります。

どうかこれらの点を御了解くださいますようお願い申し上げます。また次回もどうかこのことを念頭において御応募いただけましたら幸いです。

（「文芸思潮」現代詩賞選考委員会）

- 京都府
- 「少女」「こわい」 こもも
  - 「待合」「欠伸」 秋乃夕陽
  - 「未来へ」 白川一
  - 「ホワイトボード」 田中仁司
  - 「躍動」「泉下より」 大木 耿
  - 「BIRTHDAY」 三刀月ユキ
  - 「悼み」「光」 杏李 蘭
  - 「聖者」「うたがい」 櫻井一夫
- 大阪府
- 「静かな春」 村雨巧夢
  - 「私の顔」「姉妹」 志田 恵
  - 「夜」「夏の日」 福井節雄
  - 「行き先」「消える」 藤崎祐陽
  - 「朝の戦友」 彩 香
  - 「花」「微温」「昼夜」 竹朗
  - 「つばみの語ること」 穂積一平
  - 「深い眠り」 冬野 葱
  - 「摂動する命のために」
- 「Little League」 千葉洗之介
- 兵庫県
- 「速報」「熱発」 本木晋平
  - 「かあちゃん」 われもこう
  - 「カンが狂う」「ほとほと」「一輪の花」 ジャンジャック・本田
  - 「ある日からの漂着にむけて」
- 奈良県
- 「めぐらす」 中原桃園
  - 「佐々木樹」
- 「新世界」「内海」 インバ
- 「幽霊」 こやけまめ
- 「水深ゼロメートル」 有原野分
- 「黙祷」「胡蝶蘭」 岡 廣樹
- 島根県
- 「波音の詩」16歳の遺書を読んで」 石田博之
  - 「紅腕」「one scene」 橘いづみ
  - 「時に白夜」 奈落
- 岡山県
- 「すずの音」「桜色」 西川まひる
  - 「賽の春水」 林くん
  - 「灰、水」「祈願」 光枝初郎
  - 「プラナリア」 金藤晃汰
  - 「ごめんね」 桜街スピカ
- 広島県
- 「歩く」「兄弟」 はしのぶしげ
  - 「赤い毛糸」 まったりねずみ
  - 「水仙」 高羽里桜
  - 「しんばい」「罨」 塚 永行
  - 「水になりたい」 久去 想
  - 「水彩」「星」「人間」 遊月飛鳥
  - 「ありのあゆみ」 いまだまりこ
- 徳島県
- 「部屋」「雲のテラス」 村上文緒
- 高知県
- 「葉」「道」「譜」 淡路結波
- 福岡県
- 「越冬」「鬼火焚き」 古賀博文
  - 「汚れた手帳」 わらべ進
- 「羊水の歌」 HINANO
- 「久遠の手紙」 能塚保幸
- 「白い約束」 茶埜子尋子
- 「祝福の鐘」「黒い夢」 篠崎 蓮
- 「美しい地獄」 長尾 里
- 「おでき」「鶯」 中邑由菜
- 「鏡」「岐路」「ドア」 中邑由菜
- 熊本県
- 「化かし屋狐の舞踏会」
- keiseihhstereotype2085)
- 「女になるよ」 中立明子
- 「かさぶた」「プール」 深町秋乃
- 大分県
- 「破片」「渴愛」 岩下真理華
  - 「真珠姫」「終焉」 千葉楓子
  - 「海岸線ジ・エッジ」 岩尾宏紀
- 鹿児島県
- 「梅雨」 つつみ
  - 「雫」「包容」 眠り火
- 沖縄県
- 「帰路」「深海で」 南野すみれ
  - 「公園の日暮れ」 新垣景和
  - 「先人よ」 仲里真哉
  - 「無機質なカプセル」 二藤瑠花
  - 「すうすう」 幸地千華
  - 「四知」「海鳴り」 琴森 戀
  - 「白面」「ハキタコ」 秋雨一也
  - 「とある議場にて」 上原愛音

# 詩の添削指導

## 詩人集団 J

### 第一線詩人による懇切な添削指導

文芸思潮編集部や第一線詩人が、あなたの詩を読み、丁寧に指導します。  
 あなたの詩作力、Poemに込める言葉の力、表現力がパワーアップされます。  
 面談も可能。詩の方向、創作のヒントもアドバイスしてくれます。  
 あなたの詩を詩人集団Jにお送り下さい。  
 連続しての指導もあります。

1編（A4／2枚以内）5000円  
 2篇（A4／5枚以内）7000円

※力がアップし優秀な作品は文芸思潮に掲載します。  
 お問合せ・お申込み・詩の送付は右の事務局どうぞ

詩人集団 J 事務局

〒158-0083 東京都世田谷区

奥沢 7-15-13

アジア文化社内

TEL03-5706-7847

小説の書き方を体験を踏まえて丁寧に解説する小説指導書

# 小説の書き方

——作家を志す人のために——

五十嵐 勉